

耕す



令和7年9月1日(月) 第6号



いよいよ2学期が始まります！



長かった夏休みが終わり、みなさんにぎやかな声が校舎に戻ってきました。久しぶりに友だちと顔を合わせて、ちょっと照れくさそうにしながらも、笑顔で話す姿に、先生たちもほっこりしています。さて、二学期はイベントが盛りだくさん！運動会、文化祭、合唱コンクールなど、みんなで力を合わせて取り組む行事が目白押しです。準備や練習は大変ですが、その分、終わったときの達成感は格別。「やりきった！」という気持ちが、みなさんの自信につながります。もちろん、学びの面でもぐんと成長できる時期です。授業では、「わかった！」「できた！」の瞬間を大切にしながら、少しずつステップアップしていくようにサポートしていきます。みなさんが「楽しい！」「頑張ってみよう！」と思える環境づくりを先生たちも心がけていきます。

■運動会団抽選

令和7年度 運動会スローガン

鬼神奮迅

～個性を大きな力に、運動会を盛り上げよう～

先日、団抽選がありましたね。どの団になるかドキドキでしたが、予想通りの結果になったでしょうか？運動会当日は仲間と力を合わせましょう！！



2A：赤団
2B：青団



3A：青団
3B：赤団



1A：赤団
1B：青団



■平和学習

8月6日、平和学習を行いました。みなさんはどのように感じたでしょうか。

感想文を紹介します。



A組

当時の人々の気持ちを考えるととても苦しくなります。ただふつうに暮らしていただけで、日常をかんたんにこわされるなんて信じられません。今の日本も戦争や争いはないけど、平和とはいえないと思います。いじめがあるせいで苦しんでいる人はたくさんいると思います。私はそんなことがおこらないように気をつけたいです。また、いじめで苦しんでいる人がいたら相談にのってあげたり、声をかけてあげたりしたいと思いました。

A組

太平洋戦争で戦う理由があったとしても、もう少し話し合いで変わったんじゃないかなと思った。「戦争のつくりかた」で、例え「これがおかしい！」と気づいても決して言えない。非国民だと認定されないように常にお互いを監視している。非国民にならないように「戦争をすることは名誉だ」と間違った考えを植えつけて洗脳させる。反感を持っていた人も段々と「戦争はいいこと」と思っていく。それがどんどん他の人们にも広がって「戦争はいいこと」と定着する。だから、異変に気づいたらすぐに知らせる。たったこれだけで平和になるかもしれない。「願う」ではなく「行動に移す」ことが大事だと思った。



A組

私のおばあちゃんが1歳のときに戦争が始まったと聞きました。「かすかに覚えている。ぼうくうごうにかくれた」と聞きました。私はそれを聞いて、自分だったらこわくて夜もねむれないなと思いました。戦争はやりたくてやっているのではなく、土地をうばいたいためにやっていることがわかりました。負けてしまつてごはんを食べられなかつたら、私はぜつぼうすると思います。もくとうでは、これからも平和に、人を亡くさないように、亡くなった人は天国でみまもってくださいという気持ちでした。平和にするにはどうすればよいのかもきちんと想えていきたいです。



B組

今日のことで分かったことは、朝みんなで「おはようございます」夕方は「さようなら」このことが当たり前ではなくなり、町全体の笑顔がなくなり笑顔が悲しみ「涙」に代わってしまうということです。夜の「おやすみ」などができなくなり、明日会いたい人と会うこと、明日やりたいことができること、明日があることは当たり前じゃないことが分かりました。これからは明日を大切にしたいです。

B組

動画を見て思ったことは、「全て当たり前ではない」ということです。野球ができることも学校に行けることも、笑いあえることも全て当たり前じゃないということを改めて実感できました。それに、家族と笑い合っていた日々を一瞬でうばってしまう原爆のすごさを知り、もう戦争はしたくないなと考えました。これから生きていくにつれて、家族に会えるありがたみ、野球ができるかんきょうに感謝して、楽しく平和なくらしにしたいと思いました。

